

19

10月2017

早良区野芥に、来春オープン！ カフェ「マーノマーノ」～夢の開業日記①

文責: 在宅ホスピスボランティアの会「手と手」
副代表 峰平あけみ

全2ページ

地鎮祭が執り行われました

2017年(平成29年)10月19日(木)

「手と手」の設立から7年。在宅で療養する皆さん方とお話する中で、集うこと、語り合うこと、お茶をすることの大切さを感じてきました。「おしゃべりするうちに、気が付いたら、痛みを忘れていました」「落ち込んで仕方なかったけど、みんなでお茶していると元気になりました」と言われる患者さんの笑顔を沢山見えてきました。

「ウィッグでもタオル帽子でも、立ち寄れるカフェがあったらいいのに」「車椅子でも気楽にお茶が出来るところが欲しいな」。そんなお声も聞いてきました。誰かと他愛もないお喋りを楽しむことが、心だけでなく、身体の緩和ケアにもなることに気がきました。

「誰もが気軽に集え、お茶を飲みながら語り合える場、励まし支え合える場を作りたい」と思ってきました。病気があっても、高齢であっても、障がいがあっても、カフェでお茶したいと思うのは誰しも同じ。気が向いた時にちょっと出かけて行ける場を・・・家でも職場でもない「第三の居場所・・・サードプレイス」のような場所。

そんな思いの詰まったカフェがいよいよ着工の運びとなりました。

「マーノ」はイタリア語で「手」という意味。「手と手」という会の名前から付けました。おしゃれで温かな名前ができて夢はますます膨らみます。

来春4月のオープンを目指して、ただいま準備中です。

完成まで時々進捗状況を掲載しますので、オープンを楽しみにしていただけましたら嬉しいです。

まずは、この土地に建物を建てさせていただくことへの感謝と工事の無事を祈願するため、10月19日(木)10時から、南福寺のご住職、渡辺弘敦さんをお願いして厳かに地鎮祭を行いました。渡辺さんは、桜坂の南福寺で、1988年から毎月、「がんを語るつどい」を開催されています。福岡のがんボランティアの先達でもあります。



さて、私(峰平)は、^{かりぞめ}「刈初の儀」^{くわいれ}「鍬入の儀」^{くいうち}「杭打の儀」^{しほうばらい}「四・方祓い」など、初めての仏式の地鎮祭(起工式)にちょっと緊張気味。「手と手」からも多く参加してもらって、総勢20名での儀式でした。皆さんの気持ちに支えられ、氏神様にこれからの工事の無事と安全を祈願することが出来ました。

